科目名称	地域・在宅看護論Ⅰ（地域連携）	学年学期	単位数	時間数
		第２学年　前期	2	45
担当教員	宇都宮　千都	授業に関わる実務経験	■　有　（　保健師　） □　無	

【1】 授業概要

対象が生活する地域について理解を深める内容とする。そのため地域で生活するあらゆる成長段階にある、あらゆる健康レベルの人々に対し、行われている地域看護活動の概要を理解する。また、対象の健康課題をとらえ、健康を守るための諸施策や社会資源を理解する。さらに多様なニーズをもつ対象の生活を支えるために、制度や社会資源について理解し、保健・医療・福祉の有機的な連携をはかるための援助方法を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 地域を基盤として生活する対象を理解できる。
2. 退院支援の重要性を理解し、退院指導の方法が理解できる。
3. 関係する制度や社会資源を理解できる。
4. 社会資源の活用・連携の方法が理解できる。
5. 地域看護の役割と、目的・機能を理解できる。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■　1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■　2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
■　3. 地域の特性を看護に生かす力
■　4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■　5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域・在宅看護論Ⅰ（地域連携）で学ぶ内容・地域で生活する対象の健康課題	講義
2 3 4	地区の特性を知る	講義・演習
5	地域に暮らす人々の理解	演習
6	退院支援・退院調整のプロセス	講義
7、 8	退院後の指導① （ケースA：胃瘻を造設、膀胱留置カテーテルを挿入して退院するケース）	講義
9	退院後の指導②（ケースAでの在宅での効果的な指導方法）	演習
10	病院と地域との連携（ケースB：COPDで退院するケース）	講義
11	病院との連携①（在宅酸素療法：HOT）【外部講師】	講義・演習
12	病院との連携②（NPPV）【外部講師】	講義・演習
13	社会資源とは　社会資源の活用　多職種との連携	講義
14	社会資源Mapの作成	演習
15	居宅介護支援事業所のケアマネージャー（介護支援専門員）の役割【外部講師】	講義
16	地域看護活動の場所と方法①　地域包括支援センター	講義
17	地域看護活動の場所と方法①　地域包括支援センター	講義
18	地域看護活動の場所と方法②　保健所・市町村保健センター	講義
19	地域看護活動の場所と方法②　保健所・市町村保健センター	講義
20	地域看護活動の場所と方法③　通所施設・福祉施設	講義
21	地域看護活動の場所と方法④　学校・事業所	講義
22	まとめ	
23	試験	

【5】 評価方法

筆記試験（80点）、レポート（20点）

【6】 教科書

河原　加代子：系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護論１　地域在宅看護の基盤（第7版）医学書院　2026（電子版）

河原　加代子：系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護論２　地域・在宅看護の実践（第６版）医学書院　2026（電子版）

【7】 参考書

都築千景編著：地域特性がみえてくる地域診断　地域包括支援センターの活動充実を目指して
松山市保健福祉発行：介護保険（パンフレット）
財団法人　厚生統計協会編：国民衛生の動向

【8】 受講生へのメッセージ

全体を通して、他の科目（基礎看護技術・成人看護学・老年看護学・社会福祉・公衆衛生・関係法規等）で学ぶ内容と関連付けて学習を深めてください。